

令和 6 年 7 月 2 6 日

流山市長 井崎 義治 様

流山市男女共同参画審議会

会 長 北川 慶子



第 5 次男女共同参画プランの策定について（答申）

1. 第 4 次男女共同参画プランの評価・総括について

（1）総論

指標については、21 指標のうち 6 指標が令和 4 年度時点で目標値を達成しており、令和 2 年度のプランスタート時より向上したと考えられます。

しかし、一方で、継続して目標値を達成できていない指標や、目標値は達しているものの数値が下降している指標もあります。

事業を推進する担当課の評価は、174 項目のうち 152 項目が「達成できている」、または「ほぼ達成できている」と評価されており、担当課としては第 4 次プランに掲げた事業を計画どおり実施してきたといえます。

事業としては計画どおり進められている状況ですが、目標値の達成状況が芳しくないことから、指標と事業内容の乖離が伺えます。

（2）各論

ア 基本目標Ⅰ 男女一人ひとりを人として尊重する意識づくり

指標 2（「男女共同参画社会」という言葉の認知度）については目標値に達していないが、令和 4 年度は 90%を超えた数値となったことから「男女共同参画」の認知度は上がっていると思われます。

一方、指標 3（学校教育の場で男女が平等に扱われていると思う市民の割合）については、目標値は達成しているものの、年々数値が下がってきているため、教育や学習の充実を図る必要があります。

本市は、令和５年４月に「多様性を尊重する社会の推進に関する条例」を施行しています。今後は、男女にとどまらず、多様性への理解を深めるための取組も必要です。広く市民に向けて意識づくりのための情報提供や理解促進に向けた講座等を実施してください。

また、学校教育や家庭教育等の場における男女共同参画や人権教育を推進することで、教育や学習の充実を図ってください。

イ 基本目標Ⅱ 一人ひとりが個性と能力を活かして活躍できる環境づくり

令和４年度は、指標５（男性職員の育児休暇制度の周知率）及び指標６（男性職員の育児休業又は育児に係る特別休暇取得率）については、目標値に達しており成果があったことがわかります。

一方、第３次プランでも目標未達成であった指標７（審議会等への女性の登用率（附属機関対象））及び指標８（審議会等への女性の登用率（執行機関を除く附属機関等））については、前回のプランより実績値は上がったものの、現在のところ第４次プランでも目標を達成できていないため、引き続き具体的方策を検討し取り組んでいく必要があります。

誰もが活躍できる環境づくりに向けては、仕事と生活の調和の推進が必要です。また、市の政策・方針決定過程における女性の参画については更なる取組を進めることを求めます。

ウ 基本目標Ⅲ 生涯を通じて誰もが健康で安心して暮らせる社会づくり

指標１９（防災会議の女性委員の割合）については、目標値を達成していることから、防災分野における女性の参画に取り組まれたことが分かります。一方、指標１７（生きがいを感じる高齢者の割合）及び指標１８（流山市は子育てがしやすいまちだと思う保護者の割合）については低下がみられることから、その点については精査が必要です。

誰もが健康で安心して暮らせる社会づくりを目指して、引き続き、健康づくりの促進や防災分野における男女共同参画推進への取組を行ってください。また、あらゆる暴力の根絶と被害者支援

を行うとともに人権の尊重への理解を深めていく必要があります。

エ 基本目標Ⅳ プランの推進体制の充実

指標 2 1（第 4 次プラン事業の達成度）については、目標値である 1 0 0 %には届かないものの年々上昇していることから、各課が事業を計画どおり実施してきたことが伺えます。

計画の進行管理については、「各課が事業を実施した」ことの調査になりやすいですが、第 5 次プランでは計画の基本目標の達成の観点から評価できるよう工夫が必要です。

2. 第 5 次プランの骨格について

（1）基本理念について

市民一人ひとりが多様な生き方を尊重し、誰もがその個性と能力を十分に発揮できる流山を目指して

（2）基本目標・基本的施策について

ア 基本目標Ⅰ 多様性を尊重する意識づくり

（ア）人権の尊重と男女共同参画への意識づくり

（イ）人の多様性を認め人権感覚を育む教育の推進

イ 基本目標Ⅱ 自分らしく活躍できる環境づくり

（ア）ライフステージに応じた仕事と生活の調和の推進

（イ）政策・方針決定過程への女性参画の推進

（ウ）地域活動における男女共同参画の推進

ウ 基本目標Ⅲ 生涯を通して健康で安心して暮らせる社会づくり

（ア）DVや虐待等あらゆる暴力の根絶

（イ）困難な問題を抱える女性への支援

（ウ）健やかに暮らせるしくみづくり

（エ）子どもと家庭を地域で支えるしくみづくり

（オ）男女共同参画と多様性に配慮した防災対策の推進

（3）施策の方向性について

ア 多様性を尊重する社会の実現に向けては、一人ひとりの意識を変えることが重要であり、人権の尊重と男女共同参画の意識形成及び多様性への理解を深めるための教育や研修の充実に図られたい。

イ ライフステージに応じた仕事と生活の調和の推進及び政策・方針決定過程への女性の参画を推進するために、男性が家事や子育て、介護に参加するための環境整備や女性のエンパワーメントを引き出す取組を実施されたい。

ウ あらゆる暴力の根絶に向けて、相談窓口の一層の周知を図り、関係機関及び関係各課と連携し支援体制の充実を図られたい。

エ 令和6年1月に発生した能登半島地震においても、女性の視点に立った取組がなされていない例も見受けられたことから、男女共同参画と多様性に配慮した防災施策を実施されたい。

オ 関連計画との整合性を図り精査した上で施策を実施されたい。

(4) プランの進行管理及び推進体制について

プランの進捗状況を把握し、点検及び評価を行い、その結果については当審議会に報告し、意見を求めることとされたい。目標指標の設定に当たっては、それぞれの施策において実施した事業の効果がわかるような指標を設定してください。

また、計画の推進に当たっては、国や県、市、団体、事業者等の多様な機関との連携を図られたい。

3. その他について

令和6年4月に施行された困難な問題を抱える女性への支援に関する法律第8条第3項において、市町村基本計画の策定が努力義務とされているが当該条項に対応した計画を策定されたい。

流山市男女共同参画審議会委員

会長 北川 慶子

副会長 大塚 紫乃

小林 華奈子

小宮 陽一

加茂 ふさ子

安井 博子

箱 真人

残間 尋子

飯野 弘仁

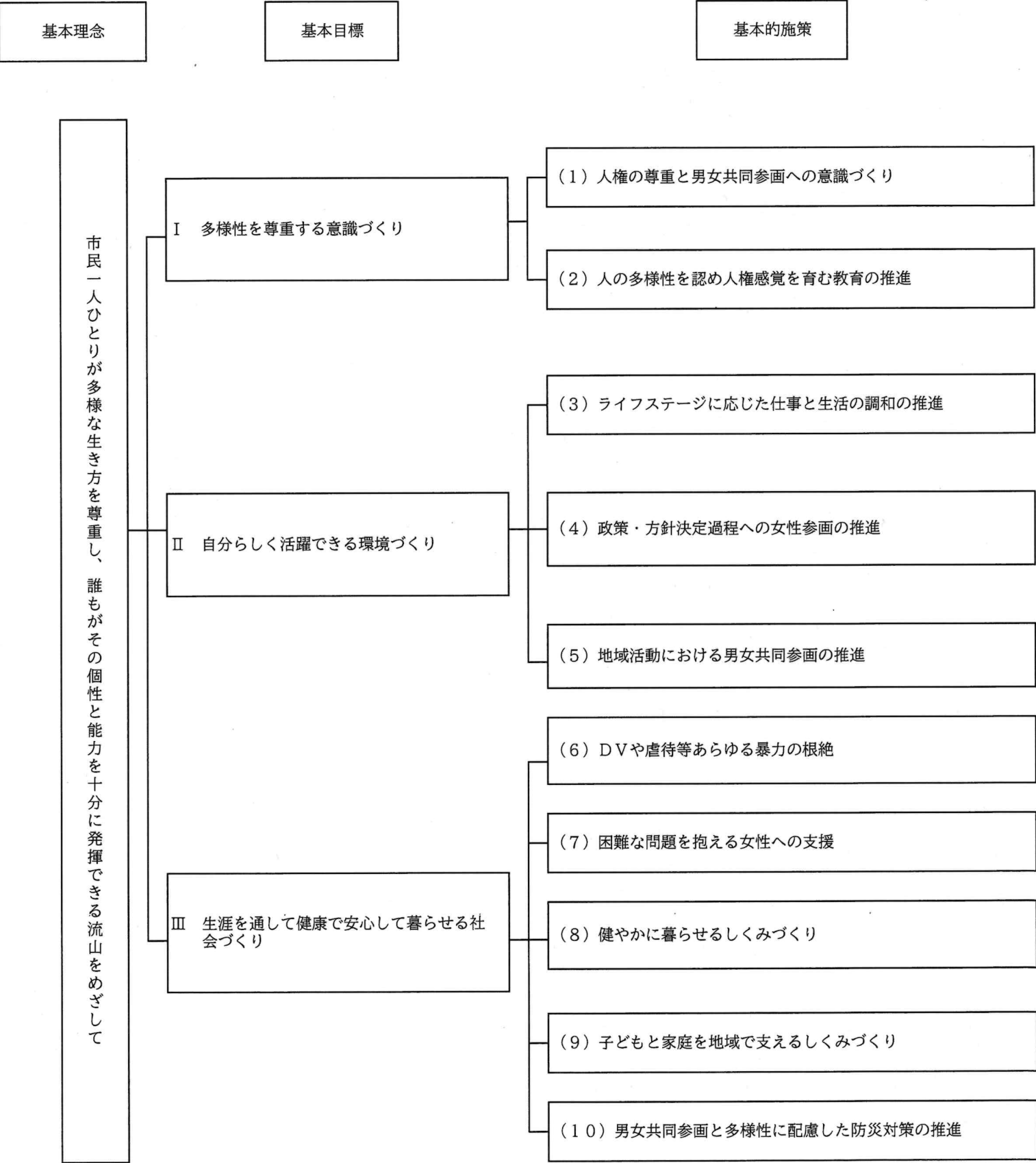
大久保 誕子

坂井 信弘

佐藤 聡美

増田 仁

第5次男女共同参画プランの体系図



参考) 指標・事業評価

1. 指標

番号	基本目標	基本的課題	指 標 名	策定時	実績				目標値
				H30年度	R2年度	R3年度	R4年度		
1	Ⅰ 男女一人ひとりを人として尊重する意識づくり	互いの性と人権を尊重する意識づくり	男女が平等に扱われていると思う市民の割合	35.8%	44.2%	43.5%	44.0%	40.0%	
2		社会と家庭における男女共同参画の意識づくり	「男女共同参画社会」という言葉の認知度	-	-	75.4%	90.3%	100%	
3		人の多様性を認め、人権を守ろうとする人権感覚を育成する教育の推進	学校教育の場で男女が平等に扱われていると思う市民の割合	65.1%	77.3%	76.1%	72.7%	70.0%	
4	Ⅱ 一人ひとりが個性と能力を活かして活躍できる環境づくり	ライフステージに応じた仕事と生活の調和の推進	子育てに係る不安や負担が軽減されていると感じる保護者の割合	71.4%	64.8%	71.3%	65.2%	82.0%	
5			男性職員の育児休暇制度の周知率	84.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100%	
6			男性職員の育児休業又は育児に関係する特別休暇取得率	66.6%	82.4%	85.7%	100.0%	90.0%	
7		政策・方針決定過程における男女共同参画の推進	審議会等への女性の登用率（附属機関対象）	31.9%	37.4%	37.4%	35.2%	40.0%	
8			審議会等への女性の登用率（執行機関を除く附属機関等）	37.5%	38.6%	40.2%	38.7%	40.0%	
9			女性のいない審議会	9.1%	6.3%	3.0%	3.2%	9.1%未満	
10			市女性職員の管理職への登用率	16.6%	18.6%	19.6%	19.1%	年2ポイント上昇	
11		家庭生活や地域活動における男女共同参画の推進	コミュニティ活動参加者の割合	37.3%	63.1%	62.5%	61.4%	65.0%	
12			男性の家事・育児・介護に費やす時間（平日）	-	0.9時間	1.0時間	1.0時間	2.5時間	
			男性の家事・育児・介護に費やす時間（休日）	-	1.4時間	1.6時間	1.5時間	4時間	
13			介護支援サポーター登録者数	633人	713人	697人	704人	前年度比10%増加	
14			「男は仕事、女は家事育児」という固定的な見方をしている人の割合	8.6%	9.6%	8.7%	9.0%	8.6%未満	
15		就業及び労働の場における男女共同参画の推進	職場において「男女の地位が平等になっている」と考える人の割合	27.9%	35.4%	37.1%	38.1%	50.0%	
16	Ⅲ 生涯を通じて誰もが健康で安心して暮らせる社会づくり	誰もが健康で安心して暮らせるしくみづくり	市が実施しているひとり親施策を知っている人の割合	-	60.5%	-	67.8%	70.0%	
17			生きがいを感じる高齢者の割合	80.1%	79.0%	82.8%	80.2%	82.0%	
18		子どもと家庭を地域で支えるしくみづくり	流山市は子育てがしやすいまちだと思う保護者の割合	51.4%	59.8%	69.6%	65.4%	71.0%	
19		防災分野における男女共同参画の推進	防災会議の女性委員の割合	16.1%	18.8%	25.0%	25.0%	20.0%	
20			防災リーダー研修への女性の参加率	20.0%	-	-	22.7%	30.0%	
21	Ⅳ プランの推進体制の充実	プランの進行管理	第4次プラン事業の達成度	-	78.0%	86.9%	92.7%	100%	

2. 事業評価（事業担当課の評価）

評価	R2年度	R3年度	R4年度
A（達成できている）	85	100	128
B（ほぼ達成できている）	46	46	24
C（あまり達成できていない）	33	18	11
D（達成できていない）	4	4	1
対象外	6	6	10